

## 比較文化論（比較文化論）

1 年次 後学期		授業科目責任者：渡邊 徳明（教養学 ドイツ語）
学習の目標（GIO）	西洋人の立場から書かれた日本論の古典を読む作業を通じ、我々のアイデンティティーの核を成している日本文化について再考察すると共に、著者の言説に敬意を払いつつ、テキストを批判的に読み、討論する能力を磨く。	
授業担当者	渡邊徳明（教養学 ドイツ語）	
教科書	「菊と刀」（ルース・ベネディクト著、長谷川松治訳、講談社学術文庫）	
参考図書	適宜、授業内で指示する。	
実習器材	特になし。	
評価方法（EV）	定期試験は実施しない。毎回の出席と提出物、最終レポートにて評価する。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	「菊と刀」は、第二次世界大戦中に米国の文化人類学者ルース・ベネディクト女史が書いたものであるが、そのきっかけは敵国日本の分析を目的として米国戦時情報局が彼女に調査を委嘱したことである。敵国を鬼畜米英と呼んでおよそ客観的な敵情分析や議論すら許さなかった我が国に比して、米国が日本人の特質についての文化的調査をいかに高い学術レベルで行ったか、ということは誠に興味深い。加えて、著者は日本に一度も行ったことがなかったのに、日本人の日常的な精神行動を深く丁寧に叙述していることに驚嘆せざるを得ない。本授業では毎回1章ずつ議論を行いたいので、参加者諸君はきちんと当該箇所を読んでくること。	

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略（SBOs）(LS)・準備学習（予習）内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9月27日（火） 2時間	授業についての全般的な注意・解説	「菊と刀」についての概説・授業の進め方について [準備学習]「菊と刀」の訳者後記を読んで、作者についての概略的知識を得ておく。	渡邊徳明
10月11日（火） 2時間	第一章 研究課題 日本	「菊と刀」第一章について、討論し論点を把握できる。 [準備学習]テキストの当該部分を事前に読んでおく。	同上
10月18日（火） 2時間	第二章 戦争中の日本人	「菊と刀」第二章について、討論し論点を把握できる。 [準備学習]テキストの当該部分を事前に読んでおく。	同上
10月25日（火） 2時間	第三章 「各々其ノ所ヲ得」	「菊と刀」第三章について、討論し論点を把握できる。 [準備学習]テキストの当該部分を事前に読んでおく。	同上
11月1日（火） 2時間	第四章 明治維新	「菊と刀」第四章について、討論し論点を把握できる。 [準備学習]テキストの当該部分を事前に読んでおく。	同上
11月8日（火） 2時間	第五章 過去と世間に負目を負う者	「菊と刀」第五章について、討論し論点を把握できる。 [準備学習]テキストの当該部分を事前に読んでおく。	同上
11月15日（火） 2時間	第六章 万分の一の恩返し	「菊と刀」第六章について、討論し論点を把握できる。 [準備学習]テキストの当該部分を事前に読んでおく。	同上
11月22日（火） 2時間	第七章「義理ほどつらいものはない」	「菊と刀」第七章について、討論し論点を把握できる。 [準備学習]テキストの当該部分を事前に読んでおく。	同上
11月29日（火） 2時間	第八章 汚名をすすぐ	「菊と刀」第八章について、討論し論点を把握できる。 [準備学習]テキストの当該部分を事前に読んでおく。	同上
12月6日（火） 2時間	第九章 人情の世界	「菊と刀」第九章について、討論し論点を把握できる。 [準備学習]テキストの当該部分を事前に読んでおく。	同上
12月13日（火） 2時間	第十章 徳のジレンマ	「菊と刀」第十章について、討論し論点を把握できる。 [準備学習]テキストの当該部分を事前に読んでおく。	同上
12月20日（火） 2時間	第十一章 修養	「菊と刀」第十一章について、討論し論点を把握できる。 [準備学習]テキストの当該部分を事前に読んでおく。	同上
1月10日（火） 2時間	第十二章 子供は学ぶ	「菊と刀」第十二章について、討論し論点を把握できる。 [準備学習]テキストの当該部分を事前に読んでおく。	同上
1月17日（火） 2時間	第十三章 降伏後の日本人	「菊と刀」第十三章について、討論し論点を把握できる。 [準備学習]テキストの当該部分を事前に読んでおく。	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月24日(火) 2時間	今学期のまとめ	「菊と刀」の全章を振り返り、討論し論点を把握できる。 [準備学習]これまでに討論した内容について、ノート等を見直しておく。	同上